

光市医師会報

平成11年 6 月号

No. 320



産 卵 (くさぶぐ)

光市医師会

〈会員広場〉

能管 (のうかん)

富 恵 博

私が初めて笛(能管)を手にしたのは大学4年(昭和58年)のことで、今からもう16年も前になります。大学を卒業してからは笛を手にすることはほとんどありませんでしたが、数年前より年に何度か、以前教えて頂いていた先生に笛を習う機会を得ました。いまだに満足に音もでませんが、今回は少し能管や能の話をして頂こうと思えます。

写真は能管とそれを収納する袋(この中には一閑張の鞘が入っています。)です。能管は全長約39cm、外径2.5cm。古竹を八つ割にし、裏返しにあわせ円筒形に接着し、内部には漆を何層にも塗り、外部は樺、藤(桜)を細く裂いたもので巻き補強しています。雅楽の竜笛に似ていますが、管の中央内部に喉(ノド)というもうひとつの細めの短い竹がはめ込んであることが大きく違います。これによりヒシギという最高音が出やすくなるといわれています。また同じ音高

に調律された竜笛は斉奏が可能です。能管は一本一本長さも違い、指穴の間隔も一定ではないため、笛ごとに音律に随分差があります。故に笛は囃子のなかで唯一の旋律楽器であるにもかかわらず、旋律が問題にされません。

笛の流儀には一噌流、森田流、藤田流の三流派があり、私は比較的強い奏法といわれる森田流の笛を習っています。(藤村朴先生も同じ流派だそうです。)

能の笛には拍子に合わない「アシライ」、拍子に合う「舞」があり、笛の舞の部分は謡と同じく一句を八拍におさめて吹きます。

練習は唱歌といわれる口唱譜をまず覚えることから始まります。唱歌は「ヲヒャアラホウホウヒ」とが「ヒウルイトルロ」と書いてあり、これを拍子にあわせてまず歌います。「ヒ」、「ホ」がこの高さの音というきまりはなく、慣れるまでは違和感があります。私が唱歌を歌える舞は「中之舞」「渡り

拍子(出囃子)」「男舞」「羯鼓」「序之舞」程度で数も少なく、恥ずかしい限りです。実際は舞だけでも15,6曲あると思います。私が始めて能舞台で能を観た時、ほとんど能の知識はなく、観客のあまりいない橋掛り(登場、退場のいわば通路)の中央、最前列に座りました。この位置からでは



舞台を真横から見ることになります。能が始まり、シテが私の目の前をゆっくりとすすんでいきました。能の動作の基本は構工とハコビであり、腰を強く据え、上体をやや前傾させて腕を返す、この構工のまま、すり足で床をこすりながら歩くのがハコビです。私の目の高さにはシテの白く輝くような足袋があり、それがゆっくりと移動していく、その非常な緊張感漂う力強さに感動していると、どこからか笛の音が聞こえてきました。私の位置からはシテ柱の陰になって笛方は見えませんでした。場面からいうと笛が登場の楽を吹いていたはずですが、その音がさほど近くでもないのにびりびりと鼓膜を振動させ、全身が粟立つようでした。私にはあたかも笛がシテを操るかのように見えました。始めて観た曲がなんであり、どんな内容だったかはまったく覚えていませんが、

あの足袋の白さと、笛の音だけは今も鮮明に覚えています。いつかあの様な音をだしてみたいというのが、笛を習い始めた動機です。今のままでいくと私も、笛も(笛は10年でひと落ち着きといわれます。)あと200年ぐらいかかりそうです。

能を観る際には本当はちゃんと謡曲を読み、自分なりのその曲に対するイメージ作っておけば、自分の中に能がだんだんと貯っていくのかもしれませんが、いきなり観にいてもきっと何か感じるころがあると思います。

世阿弥の『花鏡』に「出来庭を忘れて能を見よ。能を忘れて為手を見よ。為手を忘れて心を見よ。心を忘れて能を知れ」とあります。

皆さんも一度能楽堂に足を運んでみませんか。

平成11年度光市学校保健総会

日時 平成11年6月24日(木)

13時30分～

場所 光市役所3階 大会議室

写真は前田(平成10年度学校保健会)

会長(あいさつ)

医師会より

1. 気管支喘息とスポーツ活動
(富恵 哲)
2. 小児の生活習慣病
(河村 康明)が講話を行う。



総 会 次 第

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 議長選出

4 資格審査報告

5 議事

- (1) 平成10年度事業報告及び決算報告
- (2) 平成10年度会計監査報告
- (3) 平成11年度役員選出
- (4) 平成11年度事業計画(案)及び予算(案)
- (5) その他

6 研修会

テーマ「心身ともに健やかでたくましい
子供を育てよう」

講 話

- (1) 学校環境衛生活動に携わってみて
—学校薬剤師としてのこれまでこれから—
学校薬剤師 大戸富美子 先生
- (2) わたしたちを脅かす環境ホルモン
学校薬剤師 大戸富美子 先生
- (3) 小児の生活習慣病
内科校医 河村 康明 先生
- (4) 気管支喘息児とスポーツ活動
内科校医 富恵 哲 先生

平成11年度役員

役職名	選出部会	氏 名
会 長	学 校 長 部 会	高村 尚憲 (室積中学校)
副 会 長	学 校 医 部 会	前田 昇一
	学 校 歯 科 医 部 会	清木 史朗
	P T A 連 合 会 部 会	小林 芳恵
理 事	学 校 医 部 会	吉村 明人 光武 達夫
	学 校 医 部 会	前田 昇一 中村 国雄
	学 校 歯 科 医 部 会	清木 史朗 鈴木 秀紀
	学 校 薬 剤 師 部 会	野村 智城 大戸富美子
	学 校 長 部 会	澤村 庸 (室積小学校) 福田 隆登 (光井中学校)
	P T A 連 合 会 部 会	小林 芳恵 (光井小学校)
	保 健 主 任 ・ 養 護 部 会	八 鍬 敦子 (光井小学校)
	栄 養 職 員 部 会	坂本 桂子 (浅江中学校) 松本 陽子 (室積小学校) 岩政 文 (光井中学校)
	教 育 委 員 会	岡崎 英子
	監 事	学 校 長 部 会
学 校 医 部 会		吉村 明人
P T A 連 合 会 部 会		小林 芳恵

学術講演会

高脂血症と動脈硬化 —最近の知見—



厚生連
尾道総合病院
内科主任部長
日野 文明先生

日時 平成 11 年 6 月 22 日(火) 19:00~20:30

場所 光商工会館 2 F

新入会員



大田病院
矢富 克介先生

私は島根県の江津市出身です。人口は3万人で、冬にはかなり雪が積もります。なくなった祖父が島田の熊野神社に生れたという関係で、大田病院に精神科医として勤めています。

この道を選んだのは、学生時代に睡眠という現象に非常に興味を持ったのと、てんかんの講義がおもしろかったからです。また精神科の山田通夫教授が、「精神科は病気の数が少ない」と言われたせいもあります。

ところが、医師になってみると病気の数は少なくありませんでした。ただ分類がはっきり確定していないだけだったのです。

また薬の副作用が症状ととても似ている場合もあります。さらに病気の説明をした

時、患者さんはもちろんのこと、家族の方に納得して頂くのが非常に困難な場合もあります。例えば、

「心の病気です」

と説明すると、

「本人の心がけが悪いからだ」

と理解される家族もおられます。

また全身けいれんを起こした患者さんの家族に

「おたくの家族の中にてんかんの方がいらっしゃるでしょうか」

と聞いたところ

「うちはそういう家系ではない」

とひどく怒られた事を研修医時代に経験しました。

こういう仕事のせいか精神科から他科へかわる人も多く、全国で精神科医は1万人くらいしかいません。一緒に入局した友人も、現在では神経内科で働いています。

今振り返ってみると、駆け出しの頃は患者さんの病状に振り回される事が多く、最近ようやくその人の心の健康な部分も見えるようになりました。また往診をすると、家族と患者さんとの関係が、病院で見るよりわかる場合がある事も知りました。さらに訪問看護のナースの話聞いて、医師の前では見せない別の顔を知らされて驚く事もあります。

しかし一方では、患者さんの仕事や趣味の話聞いてずいぶん勉強になる事も多いものです。こちらが授業料を払わないといけないのではと思う事もあります。

以上のように自分の未熟さを知らされる毎日です。

いろいろ御迷惑をおかけすると思いますが、皆様これからもどうかよろしく御願い致します。

6 月度定例理事会

日時 平成 11 年 6 月 9 日(水) p.m7:30～

場所 医師会事務局

議題

- (1) 保険担当理事協議会報告(吉村理事)
資料①②

日時 平成 11 年 5 月 20 日

場所 県医師会館

- (2) 介護認定審査会 医師委員選出の件
(松村理事) 12 名選出

- (3) 周南医学会演題申し込みの件
(赤崎理事)

- (4) 入会申請

矢富 克介(大田病院)

2号(B) 会員

守友 康則(守友医院)

1号(A) 会員

入会承認

- (5) 山口臨床外科学会への助成
理事会承認

- (6) 納涼懇親会について

7月29日(木)を予定(松村理事)

平成 11 年度 社会保険医療担当者指導計画

(保険医療機関及び保険医(医科))

資料①

1 目的

保険医療機関及び保険医に対し、「保険医療機関及び保険医療養担当規則」等に定める保険診療の取扱い、診療報酬等に関する事項について指導を行い、保険診療の質的向上及び適正化を図ることを目的とする。

2 指導形態

(1) 集団指導

保険診療の取扱い、診療報酬請求事務、診療報酬の改定内容、過去の指導事例等について講習、講演等の方法により行う。

ただし、新規指定時における指導については、併せて面接懇談方式により行う。

(2) 個別指導

指導月以前の連続した2ヵ月のレセプトに基づき、診療録その他の関係書類を閲覧し、個別に面接懇談方式により行う。

3 指導対象保険医療機関の選定

(1) 集団指導

平成 10 年 9 月から平成 11 年 8 月までの新規指定の保険医療機関及び新規登録の保険医。

(2) 個別指導

次の①から⑨に該当する場合は、「山口県選定委員会」において選定する。

ただし、②については、「山口県選定委員会」に報告とする。

① 支払基金等、保険者、被保険者等から診療内容又は診療報酬の請求に関する情報に基づき、都道府県個別指導が必要と認められた保険医療機関

② 個別指導の結果、「再指導」であった保険医療機関又は「経過観察」であって、改善が認められない保険医療機関

③ 監査の結果、戒告又は注意を受けた保険医療機関

- ④ 医療監視の結果、問題があった保険医療機関
- ⑤ 検察又は警察からの情報により、指導の必要性が生じた保険医療機関
- ⑥ 他の保険医療機関等の個別指導又は監査に関連して、指導の必要性が生じた保険医療機関
- ⑦ 会計検査院の実地検査の結果、指導の必要性が生じた保険医療機関
- ⑧ 老人デイケア施設を有する保険医療機関等、指導が必要と認められる保険医療機関
- ⑨ 1件当たりの点数が著しく高い保険医療機関

4 指導の実施

指導の実施においては、県医師会と十分協議のうえ円滑な実施を図るものとする。

5 指導の日時

(1) 集団指導

平成 11 年 10 月 31 日(日) 新規指定の保険医療機関

(2) 個別指導

平成 11 年 6 月 24 日(木) 山口地区
(阿知須町、阿東町を含む)

平成 11 年 7 月 22 日(木) 宇部地区

平成 11 年 9 月 9 日(木) 下関地区

平成 11 年 10 月 21 日(木) 徳山地区

平成 11 年 11 月 18 日(木) 岩国地区

平成 11 年 12 月 9 日(木) 萩地区

選定基準 (個別指導)

資料②

1 指導対象保険医療機関

(1) 選定項目

- ① 支払基金等、保険者、被保険者等から診療内容又は診療報酬の請求に関する情報に基づき、都道府県個別指導が必要と認められた保険医療機関
- ② 個別指導の結果、「再指導」であった保険医療機関又は「経過観察」であって、改善が認められない保険医療機関
- ③ 監査の結果、戒告又は注意を受けた保険医療機関
- ④ 医療監視の結果、問題があった保険医療機関
- ⑤ 検察又は警察からの情報により、指導の必要性が生じた保険医療機関
- ⑥ 他の保険医療機関等の個別指導又

は監査に関連して、指導の必要性が生じた保険医療機関

⑦ 会計検査院の実地検査の結果、指導の必要性が生じた保険医療機関

⑧ 老人デイケア施設を有し指導が必要と認められる保険医療機関

⑨ 1件当たりの点数が著しく高い保険医療機関

(2) 取扱い

①の支払基金等からの情報について

審査録により査定回数、返戻回数、及び問題点として指摘された審査所見及び文書指導の回数により評価を指数化し評価点の高い保険医療機関順とする。

⑨の1件当たりの点数が著しく高い保険医療機関について

類型区別に県平均に比して著しく高い保険医療機関順とする。

- 2 指導対象保険医療機関数
保険医療機関総数の4%程度とする。
(診療所49件、病院5件)
- 3 選定対象から除外する保険医療機関
 - ① 平成10年度に個別指導を実施した保険医療機関。
 - ② 平均件数が10件未満の診療所である保険医療機関。
 - ③ 平均件数が30件未満の病院である保険医療機関。
- 4 その他
類型区分
 - (1) 病院
 - ① 一般病院
 - ② 老人病院
 - ③ 精神病院
 - ④ 臨床研修指定病院、大学附属病院、特定機能病院

* 一般病院及び老人病院において、複数の病棟がある場合については、許可病床数の多い方の区分とする。
 - (2) 診療所
 - ① 内科（主として人工透析を行う内科を除く）
 - ② 内科（主として人工透析を行うもの、内科以外も含む）
 - ③ 精神・神経科
 - ④ 小児科
 - ⑤ 外科
 - ⑥ 整形外科
 - ⑦ 皮膚科
 - ⑧ 泌尿器科
 - ⑨ 産婦人科
 - ⑩ 眼科
 - ⑪ 耳鼻咽喉科

山口県医学会総会準備委員会

日時 平成11年6月9日(水) 8:00pm～
場所 医師会事務局
(1)講師選定(医療関係)
(2)午後の公開講座
(3)パンフレットについて

平成11年度光医歯会予定表

第1回 平成11年5月23日(日) 周南cc
第2回 平成11年7月11日(日) 〃
第3回 平成11年10月3日(日) 〃
(松医会と合同)
第4回 平成11年11月13日(土)・14日(日)
(遠征ゴルフ)
第5回 平成11年12月12日(日) 周南cc
(忘年会)
第6回 平成12年3月 周南cc
(総会)

多数の皆様の参加をおねがい致します。
監事 守田(歯)、河村(医)

レントゲン勉強会

日時 平成11年6月1日(p.m.7:00～8:30)
場所 医師会事務局
講師 徳山中央病院 健診センター長
岡本安定 先生
司会 赤崎 信正 先生

会 員 動 向

江口 晴美 退会
梅田病院より
愛媛大学医学部産婦人科へ
矢富 克介 入会
愛命会 大田病院
守友 康則 入会
守友医院

心電図研究会 (第132回)

日時 平成11年6月11日 (p.m.7:30～)

場所 光商工会館2F

講師 河野 隆任 先生

司会 赤崎 信正 先生

症例

- 1 76才男 意識障害
- 2 72才女 顔面浮腫
- 3 70才女 昏睡
- 4 56才男 頻拍発作
- 5 75才男 頻拍発作
- 6 56才女 頻拍発作

ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

2年ごし、3度目の峨嵋山越えを行い、表紙のくさぶく産卵を撮影いたしました。昨年の1回目は周囲の景色を撮っているうちにフィルムが無くなってしまい、本年の2回目は少し波が高くて、岩場まではぶくは来ていましたが、産卵する事なく戻って行きました。今回の3度目は天気にもぐまれ、波打ち際にバシャバシャと海水を白濁させて、元気な産卵風景をみせてくれました。中学生の頃に産卵中にぶくをつかまえて遊んだ事を思い出しました。(今、こんな事をしたら新聞にのるのでしょうが)

一度、皆様も森林浴をかねて、是非、お越し下さい。

(河村)

(目次) 会報掲載記事

1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行
1-057nd	日付	頁数	発行

謝 辞

本会報に掲載していただくことへの御礼、お礼を申し上げます。また、本会報の発行に際してご協力いただいた関係者の方々には、改めて御礼申し上げます。また、本会報の発行に際してご協力いただいた関係者の方々には、改めて御礼申し上げます。また、本会報の発行に際してご協力いただいた関係者の方々には、改めて御礼申し上げます。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤 龍一
編集者	広報 担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社